1学年だより

西東京市立柳沢中学校
令和７年４月 25.日
No.４

これが私たちの初心です

～生徒作文より～

□ Ｃ組　Ａ　Ｋ「長いようで短い生活」

．　一日が長く感じたり短く感じたりする日があります。でも一年間が終わるといつも「早かったな」や「短いな」と思います。その「短いな」は勉強だけの毎日だったら思わなかったと思います。友達や家族との笑い合う時間、人と関わっている時間など、少しでもその時間があるから、つまらなくて、長く感じる時間も、最終的にはとても短く感じるんだと思いました。なので、つまらなくて短い人生より、楽しくて短い人生が良いなと思いました。人生で数年しかない学生生活を楽しく短く感じたいなら、勉強の時間も楽しいと思えるように工夫したいです。

小学生のころは「早く中学生になりたい」中学生では「早く高校生になりたい」と、大人になれば、「学生にもどりたい」と、いつかは、今にもどりたいとなります。だから「もどりたいほど楽しかったな」と思える時間にしたいです。

□ Ｂ組　Ｕ　Ｓ「中学校で意識したいこと」

僕は中学生になって三年後にとてもよかったと思えるように生活したいと思っています。そのために意識したいことが三つあります。

まず、勉強を頑張りたいと思っています。中学生になるとテストが進路にかかわってくるのはもちろん、内容もとても難しくなってきます。僕は特に数学と英語を頑張りたいです。数学は算数から呼び名が変わり、より深く勉強すると思います。また英語はこれから特に必要になる力だと思います。だからこの二つの教科を夢や目標をかなえるためにしっかりと勉強していきたいです。

そして二つ目は部活動です。部活動を通して体力や忍耐力など、将来のために必要なたくさんの力をつけて、いろいろな経験を積んでいきたいと思います。

さらに委員会や係活動も頑張っていきたいと思います。委員会や係活動を通して、クラスや学年、学校全体に貢献して、より良い学校生活を送れるようにしたいです。そしてみんなにも喜んでもらえるような仕事をしたいです。そのためにみんなが求めていること、困っていることをしっかり考えて行動していきたいと思います。

この三つのことを特に意識して行動することでより良い学校生活を送っていきたいと思います。中学校の一員としてしっかりと学校生活を送っていきたいです。

裏面へ→

□ Ａ組　Ｋ　Ｓ　「小学校から中学校へ」

長いようで短かった小学校生活が終わり、いよいよ中学生になりました。小学校と違い制服があったり、校則が厳しかったりしていろいろ不安なことがありました。でも、不安よりある気持ちのほうが大きかったです。その気持ちは「楽しそう」という気持ちです。中学校に行ったら友達もできるし、部活もあるので楽しみのほうが大きかったです。

そんな気持ちで迎えた入学式。学校に来るとクラスが発表されて私は友達と同じ１年 Ａ 組だったのでうれしかったです。

入学式が終わり一週間がたちました。仮入部が始まったり、委員会や係が決まったりといろいろと新しい中学校生活が始まってきました。ドキドキ、ワクワクしながら毎日学校に来ています。

私が中学生として大切にしたいことは思いやりです。小学校の運動会のリレーの時、私のチームの子が走っているときに転んでしまいました。そのときみんなが「だいじょうぶ？」とか、「次の種目で頑張ろう」とか声をかけたおかげで、転んだ子も元気を出せていました。私は中学校で困っている人や悩んでいる人がいたら、優しく声をかけて、思いやりのある人、そしてみんなで思いやりのある１年 Ａ 組にしていきたいと思います。そのためにまずは家族や先生、友達、先輩に感謝の気持ちを忘れずに、充実した中学校生活を送っていきたいです。